

万博推進局

1. 大阪・関西万博に向けた推進体制について

(1) 大阪府・大阪市万博推進局の体制について

国内外からの賓客接遇の対応に向け儀典課を設置するとともに、機運醸成に関し、府域全体で官民一体の取組みを展開するため、「地域連携タスクフォース」を創設。そのほか、大阪ヘルスケアパビリオンの出展準備などの業務の本格化等を踏まえ、4月の組織改正において、万博推進局の体制を強化

- 〔 8月1日時点の職員数（府市）：259名
本局87名、（公社）2025年日本国際博覧会協会派遣152名、
（一社）2025年日本国際博覧会大阪パビリオン派遣20名 〕

(2) 2025年大阪・関西万博推進本部

万博の円滑な開催に向け、府市の各部署や区役所で推進本部を構成。府・市一体で対応が求められる項目について、専門部会ごとに課題を抽出し解決に向けた取組みを推進

- ・2023年4月13日 第2回推進本部会議開催
万博開幕前及び会期中に来訪される国内外の賓客に対する全庁的な接遇体制を整備するため、新たに「賓客迎応部会」を設置し、推進体制を強化
- ・2023年8月9日 第3回推進本部会議開催
博覧会協会および府市の取組状況について報告

(3) 全国知事会 大阪・関西万博（2025年日本国際博覧会）推進本部

全国における機運醸成や自治体独自の取組みを推進するため、全国知事会において万博推進本部を設置（本部長：平井鳥取県知事 副本部長：吉村大阪府知事）

- ・2023年6月5日 第2回推進本部開催
国に対し、万博を契機とした更なる地域活性化に取組む自治体への財源措置を求める提言をとりまとめ

- ・2023年7月25日 第3回推進本部開催
知事本人が多数出席する全国知事会の中で、各自治体における万博に向けた更なる取組みの推進や、全国での機運醸成につながる取組みを依頼 など

地域のブロック会議に、国や協会とともに出向き、機運醸成等について各都道府県の知事へ直接、協力の呼びかけを実施

2. 国への要望活動

(1) 2025年日本国際博覧会関連事業に関する要望活動

2023年6月20日、府・市、経済界、関西広域連合、協会と連携し、「2025年大阪・関西万博アクションプランVer.4」改訂に向け、財政支援や規制緩和などについて国に対して要望活動を実施



○ 要望先

松野官房長官、岡田国際博覧会担当大臣、西村経済産業大臣ほか

2023年6月30日、国が「2025年大阪・関西万博アクションプランVer.4」を決定

「空飛ぶクルマ」「ライブサイエンス」「カーボンプートラル」等の取組みの具体化が図られた

(2) 全国知事会 大阪・関西万博（2025年日本国際博覧会）推進本部要望活動

万博を契機に更なる地域の活性化を図るため、6月の推進本部会議でとりまとめた提言について、2023年7月25日に、国へ要望を実施

○ 要望先

岡田国際博覧会担当大臣

○ 要望内容

全国の自治体が、それぞれの地域の特性に応じた創意工夫のもと、全国津々浦々で機運醸成や交流促進に向けた事業を進めるため、国からの財源措置の早急な具体化について要望

3. 会場への入場等について

(1) 大阪・関西万博の入場券種及び価格等について

入場券は、次世代を担う子ども達をはじめ、より多くの方々から来場できるように、開幕券や前期券、一日券の超早期購入割引などの前売券のほか、夏バスや通期バスといった複数回入場バス、団体割引券など、たくさんの特典を設定

特に子ども料金は、愛知博で大人の1/3程度の価格であったのに対し、大阪・関西万博では1/4程度とさらに安価な価格に設定

前売りの販売を開始500日前となる2023年11月30日から開始

項目	券種	大人 (18歳以上)	中人 (12~17歳)	小人 (4~11歳)
前売チケット	開幕券 (4/13~26 入場可)	4,000円	2,200円	1,000円
	前期券 (4/13~7/18 入場可)	5,000円	3,000円	1,200円
	超早期購入割引 購入：23/11/30~24/10/6	6,000円	3,500円	1,500円
	一日券 購入：24/10/7~開幕前	6,700円	3,700円	1,700円
会期中販売チケット	一日券	7,500円	4,200円	1,800円
	平日券	6,000円	3,500円	1,500円
	夜間券	3,700円	2,000円	1,000円
	夏バス (7/19~8/31 何度も入場可)	12,000円	7,000円	3,000円
前売・会期中販売チケット	通期バス (4/13~10/3 何度も入場可)	30,000円	17,000円	7,000円
	特別割引券 (障がい者と同伴者1名が購入可能)	3,700円	2,000円	1,000円
	一般団体割引券	6,300円	3,500円	1,500円
	前期学校団体割引券 後期学校団体割引券	-	2,000円	1,000円
			高校生	中学生
			2,400円	1,000円
				小学生・園児
				1,000円
				1,000円

※3歳以下は無料

(2) 大阪・関西万博へのペット同伴入場について

過去博で例のない万博におけるペット同伴について、現在、協会や国、府・市を含む関係団体において、学識経験者、専門家、事業者等で構成する有識者検討会を設置。人とペットが共生する社会の象徴となる空間の在り方を示し、ペットの適正な飼育方についてのルールやマナーの普及啓発などの検討を進めていること

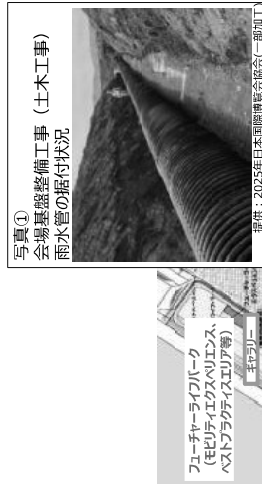
今後、関係者と協議の上、博覧会協会で方針を決定する予定

1. 会場整備

(1) 会場建設の取組み (博覧会協会)

- ・2022年10月から会場基礎整備工事（土木工事）を実施しており、2023年4月までに土地造成は概ね完了。下水道や雨水排水管等の整備も着実に進捗している。
- ・また、2023年4月に起工式を実施
- ・大屋根（リング）を含むパビリオンワールドの3つの工区と、グリーンワールド工区の施設整備事業も順次、工事を実施しており、6月30日からは、大屋根（リング）の組み立ても開始
- ・協会が整備する主要施設（大・小催事場、迎賓館、テーマ館）は、すべて施工事業者決定（8月末時点）
- ・会場建設費については、1,850億円に収めるべく最大限の努力をしているところ。昨今の資材価格や労務費等が高くなっていることも踏まえ、協会において、どのように1,850億円に収めていくか、精査を行っている段階

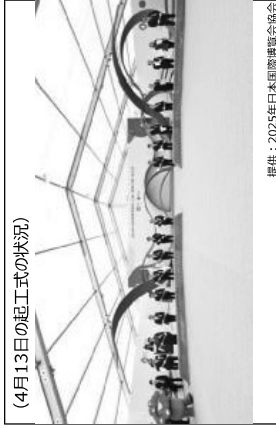
図：会場配置計画（2023年1月26日時点）



写真①
会場基礎整備工事（土木工事）
雨水管の振付状況

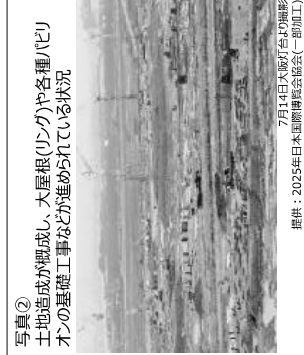


写真②
大屋根（リング）組み立て工事状況



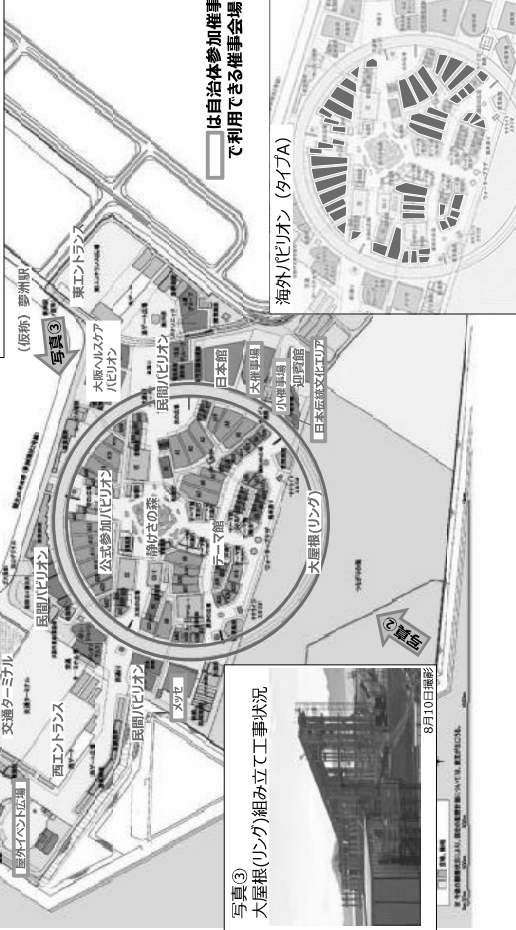
写真③
4月13日の起工式の状況

図表：2025年日本国際博覧会協会



写真④
土地造成が概成し、大屋根（リング）や各種パビリオンの基礎工事などが進められている状況

写真⑤
7月14日大阪府台の撮影



図表：2025年日本国際博覧会協会（一部加工）

(2) 海外パビリオン（タイプA）の建設促進にかかわる取組み

- ・セルビルド方式のパビリオンについては、2023年4月より、敷地引き渡しを開始しているが、ドバイ万博の延期に伴う、参加国の準備の遅れや、建設市場のひっ迫（資材高騰、人材不足など）により、施工事業者の確保が課題となっている
- ・こうした状況の中、海外パビリオンの建設が促進されるよう、政府や協会、府・市が協力、調整しながら取組みを進めているところ

(政府・協会の取組み)

- 7月以降、参加国や施工事業者の双方に対し、意見交換の場を設置するとともに、万博貿易保険の制度設立や建設実務に精通した外国語人材による対応窓口を設置するなどといった調整・サポートを実施中
- 加えて、パビリオンの建設準備を加速するため、政府と協会が協力して、8月中旬に、参加国に対し、協会が建設する躯体に内外表等は目で行うタイプX1を検討のオプションとして提案（8月末を目処に各国の状況を確認する予定）。

(府・市の取組み)

- (1) 建設業許可手続の短縮化（大阪府）
 - (2) 建築基準法に基づく、仮設建築物許可・建築確認手続の期間短縮化（大阪府）
 - (3) 建設業界への働きかけ（府・市）
- などの取組みを実施。

2. 交通アクセス

(1) 大阪・関西万博 来場者輸送具体方針（第2版）の策定

- ・2025年日本国際博覧会来場者輸送対策協議会において2023年5月「来場者具体方針（第2版）」を策定。新たに、水上交通利用及び関西MaaSと連携して混雑状況・予測の情報や駅シャトルバスの予約サービスを提供すること、鉄道・バスでの乗り換えにおける雑踏対策などの項目を追加
- ・今後、概ね半年に一度、本具体方針を改定予定

3. 一般交通への働きかけTDM*

* TDM（交通需要マネジメント）とは、Transportation Demand Management略で、既存の交通システムの利用効率を拡大化する目的で移動者側に行動変更を促す施策

(1) 2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議

- ・チケットコンドールによる来場者需要の平準化などを行っても、来場者が多くなる時期に交通混雑の発生が予測されることから、2022年12月に設置した交通円滑化推進会議において、円滑な来場者輸送と都市活動の両立を図るため、企業の方々や府民、市民に対して、在宅勤務などの協力を呼びかける方針

〔予測〕OsakaMetro中央線の混雑率約140% ⇒〔目標〕約120%
〔予測〕阪神高速の渋滞発生・悪化 ⇒〔目標〕渋滞長が通常時の最大を超えない

- ・6月やお盆以降の時期には特に来場者数が多くなるため、分り易さや取り組み易さの観点から、万博開催中の全ての期間に同じ強度でTDMを実施するのではなく、来場者数に応じて段階に強度を分け、働きかけを実施

レベル	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
① 強いつけ							
② 呼びかけ							
③ 特に呼びかけない							

- ※1 企業や府民、市民に対する広報など、TDMの機運醸成を実施
- ※2 6月に実施したTDMの内容の検証及びその改善案を実施

- ・現在、実務担当者等による幹事会を開催し、働きかけの対象・メニュー・重点エリア等の検討、関係者への協力要請（ヒアリング含む）を実施中
- ・2023年8月に関西経済連合会が会員企業向けに、「来場者輸送具体方針及び働きかけTDMに関する説明会」を開催（参加者約150名）し、府・市からは、特に来場者が多くなる6月やお盆以降の時期については、在宅勤務などの協力をお願いしたい旨を説明
- ・今後、年末を目途に、具体的に働きかける内容や府・市の実行計画などをとりまとめたい

「大阪ヘルスケアパビリオン Nest for Reborn」に関する取組み

1. 展示・運営等の取組状況

(1) 直近の取組状況

①「展示・出展ゾーン」へ出展する中小企業・スタートアップを募集・選定中(リポーンチャレンジ)

○大阪ヘルスケアパビリオンでは、中小企業やスタートアップの優れた技術力や魅力を発信する「展示・出展ゾーン」を設置し、会期中、約260社の出展参加を予定
 ○2023年1月からは、順次、各リポーンチャレンジ実施主体による中小企業・スタートアップの募集・選定を進めているところ
 (26件中6件が募集中、20件が募集終了 ※一部追加募集の見込み)
 ○2023年度中に、各実施主体において出展企業を決定予定
 ○併せて、別途構築予定のバーチャル大阪パビリオンにおける情報発信等についても、関係部局と連携し、検討を進めていく



「展示・出展ゾーン」のイメージ

②「アクアポニックス」の展示について公表 (2023年5月)

○子どもたちに自然界におけるサステナブルな循環の大切さを伝えるとともにSDGs達成への貢献をめざす取組みのひとつとして、寄附金(一般市民からの寄附金3億円)を活用して、「アクアポニックス(※)」を設置予定
 ○今後、大阪公立大学植物工場研究センターの協力も得て、設計・製作を進めていく



アクアポニックスのイメージ

※水産産殖「アクアカルチャ」と水耕栽培「ハイドロポニックス」を組み合わせた生産システム

③ロゴマークを決定 (2023年7月)

○2022年7月29日から10月3日まで、一般公募を行い、320作品の応募
 ○グラフィックデザイナー等からなる選考委員による審査、デザイン調整等を経て、2023年7月11日、大阪ヘルスケアパビリオンのロゴマークを公表
 ○今後、パビリオンの広報ツールとして積極的に活用していく



大阪ヘルスケアパビリオンロゴマーク

【コンセプト】
 テーマ「REBORN」のもと、未来への可能性をタコノの形で、また、パビリオンで描き、その可能性を守り育む青い大阪を、水都の青や、街にあふれる緑で表現

④株式会社バンダイナムコホールディングスと連携協定を締結 (2023年7月)

○パビリオン出展に向けた機運醸成及びSDGsに関する取組み等を相互に連携・協力して進めるため、パビリオン間連携第一弾としてガンダムパビリオン(仮称)を出展する株式会社バンダイナムコホールディングスと連携協定を締結
 ○今後、連携しSDGs教育の取組みを進めるとともに、PRイベント等でのコラボレーションについても検討を行う

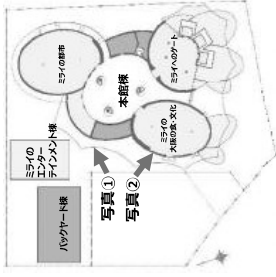


プレス向け発表会の様子

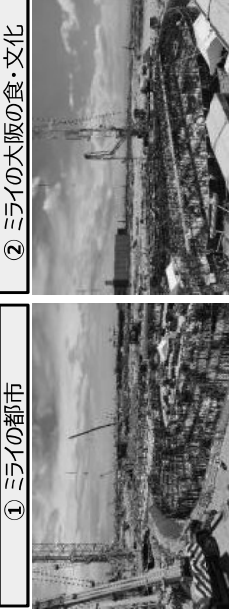
【主な連携項目】
 ・万博開催に向けた画パビリオンのPR、機運醸成
 ・万博開催中における誘客促進
 ・SDGs達成に向けた取組み促進

2. 建築工事の進捗状況

(1) 建物配置図 兼 1階平面図

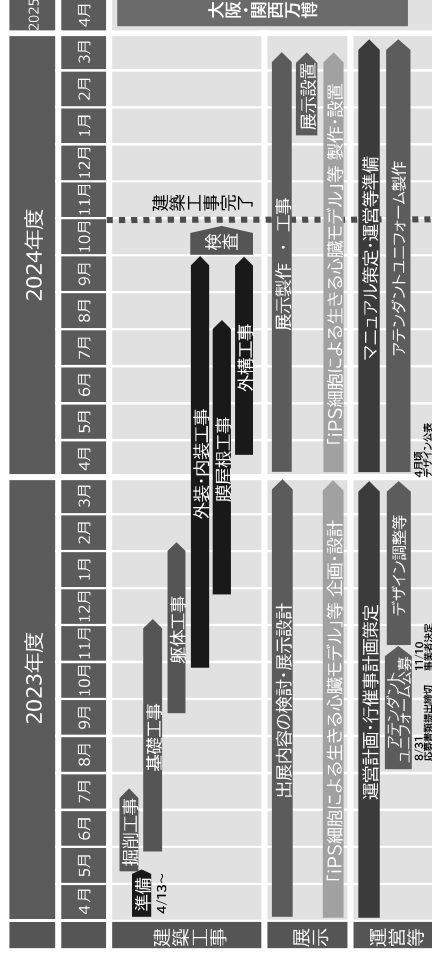


(2) 現場写真 8月9日撮影



▶ 現在、基礎工事を進めており、9月中には躯体工事に着手予定

3. スケジュール



4. バーチャル大阪

「バーチャル大阪」は、大阪の魅力発信と国内外の人々の交流の場として2021年度に構築したインターネット上の仮想空間。2022年度以降、民間コンソーシアムにより運営(府・市は進捗管理の立場として関与)。バーチャル大阪パビリオンとも連携を予定。

(1) 直近の取組状況と今後の予定

- ・2023年8月 バーチャル高校野球パブリックビューイングイベント開催
- ・2023年10月 ハロウィンイベント開催(予定)
- ・2023年度中 エリア拡張

(2) 各都局による関連施策

府立高校生によるPR事業【教育庁】

府立高校生が国内外の高校生等と万博に関する意見交換や大阪の魅力発信等の交流ができるプラットフォームをバーチャル大阪内に構築(今秋以降のイベント開催に向け、空間構築・検口中)



空間イメージ

大阪府20世紀美術コレクション魅力発信事業【府民文化部】

府が所蔵する美術作品をより多くの人々に鑑賞いただくため、「バーチャル美術館」を2023年度中に開設。バーチャル大阪との連携も予定



府立江之子篤文化芸術創造センター

1. 機運醸成委員会

(1) 機運醸成委員会の設置

全国に向けた機運醸成の司令塔・旗振り役として、2023年4月、博覧会協会内に、機運醸成委員会を設置
 (委員長：関経連・松本会長 副委員長：吉村知事・横浜市市長・関西広域連合及び経済団体の代表者等)

(2) 行動計画の策定

6月12日、委員会総会を開催し、官民一体で取り組みアクションを取りまとめた「機運醸成 行動計画 ver.1」を策定。本計画では3つのPR重点期(①開幕500日前・前売入場券の販売開始前：2023年10～12月、②開幕半年前期：2024年9～11月、③開幕直前・直後期：2025年3～5月)を設定

(3) 今後の取り組み

10～12月のPR重点期において、最大の盛り上がりを持ってこられるよう、構成メンバーが、プロモーション活動の全体像・方向性の共有を図りながら、全国主要企業・メディアへの協力依頼や、行政ネットワークを活用した全国自治体への働きかけなどに取り組んでいく

2. 地域連携タスクフォース

(1) 地域連携タスクフォースの設置

府域全体で官民一体となって機運醸成の取り組みを展開していくため、2023年4月、万博推進局機運醸成部内に、「地域連携TF」を設置。官民が主催するイベントの情報を収集し、万博に関連付けるようコーディネートを実施

(2) 民間企業・団体への働きかけ状況 (8/16時点)

【集客イベント等における万博PR】

<イベント情報の収集>

民間企業・団体等が実施する集客イベントの情報を、関係部局や経済団体、集客施設、機運醸成事業委託事業者から収集 (収集したイベント：193件)

<万博PRの働きかけ>

情報収集したイベントで、PR重点期 (10-12月) に開催される想定来場者数1000人以上の大規模イベント (74件) を中心に、各イベントの主催者を訪問し、ミヤギマツの出演やPRブースの出演、動画放映、のぼりの掲出等を盛り込んでいただくよう、順次働きかけを実施 (働きかけ済：65件) そのうち46件 (10月：16件、11月：18件、12月：3件、その他：9件) については、万博PRに協力いただける予定。今後、PRの実施に向けて具体的な調整を進めていく

【ポスター・のぼりの掲出等】

公民連携企業や大阪パビリオン協賛企業等を順次訪問し、営業所等において、ポスターやのぼりの掲出、デジタルサインや社内報を活用した万博PRにご協力いただくよう、働きかけを実施。全ての企業・団体において、万博PRの協力をいただいている。

(3) ロードマップの作成

今後、上記のとおり、PRに協力いただける民間イベントや、地域連携イベント部会への働きかけ等を通じて万博PRを実施する行政イベントについて、府民が万博に触れるきっかけとなるイベントの一覧として掲載する「ロードマップ」を9月上旬に公表予定

3. 機運醸成アクションプラン (ver2.0) に基づく2023年度の主な取り組み

(1) 全国への発信強化

① 行政ネットワークを活用した取組み

- ・全国知事会 万博推進本部 (6/5・7/25)
- ・指定都市市長会 (5/15)
- ・各地域ブロック知事会 (九州5/31、四国6/6)
- 全国各地域での機運醸成の取組みについて協力依頼
- 今後、九州・四国以外の地域ブロック知事会等、あらゆる機会を捉えて働きかけを実施予定

② 節目を捉えた大規模イベントの実施

- 10～12月のPR重点期に、発信力のある大規模イベントを実施予定
- ※ 御堂筋オータムでの万博PR (11/3)、開幕500日前イベントの実施 (11/30) 等

(2) 地元でのさらなる取組みの推進

① 各種イベント等と連携した万博PRを実施

主催者や関係部局から万博PRへの協力について提案があったイベント等において、ブース出展やグッズ配布等を行い来場者へPR
 ※ 今年度 (8/16時点)：110件のイベントと連携

② シティリビング

主要エリアの街頭バナーなど、統一的な万博デザインでの装飾等を実施予定 (11月～)

③ 万博の桜2025のさらなるPR

植樹の目的の立った本数(8/3時点) 1,781本 / 2,025本 (87%)
 → 目標達成に向け、PRの強化等に取り組み

(3) 若年層への発信強化

高校生向け教育プログラム

昨年度作成した教材を使用し、府立高校4校でモテル授業を実施
 今後、府内・全国の学校へ展開。また、年度内に、本プログラムを活用した高校生によるワークショップ形式のイベントを開催予定

(4) 海外への発信強化

G7 貿易大臣会合やツールズEXPO等の機会を活用し、海外に向けたPRを実施予定。



PR横断帯のSNS一斉投稿 (2023.4.12)



全国知事会 (2023.7.25)



高石シーサイドフェスティバル (2023.6.18)



教育プログラム モテル授業 (2023.6.22)



英語版 P.R. 動画

1. 大阪の魅力発信に向けたオール大阪による催事参加

(1) 博覧会協会による自治体参加の枠組み

① 自治体参加催事

万博会場内の催事場において、自治体が地域の魅力を国内外に発信するために用意されたプログラム。例年実施している催事の枠を超え、万博参加者全員に「未来にいのちをつなぐ一歩のきっかけを創る。」体験を共有できるような「チャレンジングな催事」として、企画から当日の運営まで自治体を実施

② テーマウィーク

世界中の国々が半年間にわたり同じ場所に集う万博の特性を活かし、地球的規模の課題の解決に向けて、対話による解決策を探る取組み。1週間ごとに地球の課題をテーマに設定し、主催者、公式参加国、政府、出展企業等の万博参加者、全国の自治体や産業界等が集い、解決策を話し合う「対話プログラム」と、「行動のための「ビジネス交流」」などを実施



(参考) 愛知万博における自治体参加催事(愛知県ウィーク)の実施例 (参考)バイオ万博におけるテーマウィークの実施例

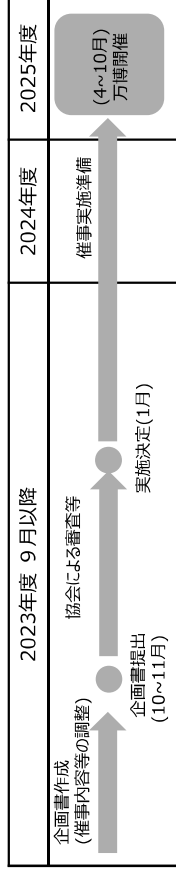
(2) 府・市の自治体参加催事の取組みについて

万博には国内外から多くの人々が来場予定であり、開催地である大阪にとって広く世界にPRする絶好の機会。この機を捉え、万博会場において府とすべての府内市町村が連携して、オール大阪で地元の魅力を効果的に発信する「(仮称)大阪ウィーク」の実施をめざす

① これまでの経緯

- 2023年3月～4月 府内市町村及び府内市町村局へ意向調査を実施
- 5月～6月 上記意向調査を踏まえた個別ヒアリングを実施
- 6月29日 (仮称)大阪ウィークの企画書案(開催時期・開催会場案)にかかると、市町村説明会を開催し、意見交換
- 6月30日 協会へ企画書案を提出
- 7月18日・19日 市長会、町村長会にて企画書案を説明、府内全市町村が参画する市町村催事参加委員会を設置が決定
- 8月9日 委託事業者からの提案内容(催事プログラム案)にかかると、市町村説明会を開催し、意見交換

② 今後のスケジュール



(仮称) 大阪ウィークの全体概要 (調整中)

【開催時期】

万博がメディア等に注目されるタイミングや、過去の万博来場者数の推移から増加が見込まれる時期、各イベントの準備期間等を考慮して設定

①5月/1週間(開幕期)
5/8(木)～5/17(土)

②7月/1週間(夏休み期)
7/24(木)～8/2(土)

③9月/1週間(閉幕期)
9/11(木)～9/20(土)

※①～③それぞれ連続する10日間(設営2日+催事7日+撤去1日)を設定
【催事プログラム案】(催事の企画検討を行う委託事業者からの提案内容)

○ 通期イベント

①～③期にわたって、府内43市町村それぞれの観光・文化・食・産業等、強みや魅力を発信するPRブースやステージイベントを開催

○ コアイベント

①～③の各期ごとに、多様なメディアに注目される話題性の高い催事を開催
(各地域の山車や神輿、だんじりなどを披露するイベントや、大阪ゆかりの音楽フェスティバル、世界の人々をつなげる盆踊りイベント など)

○ レギュラーイベント

①～③の各期ごとに、府や府内市町村が主体となり、大阪の魅力を国内外に発信する催事を会場内で広く展開

【催事会場】

大催事場
屋内型ホール
音楽、演劇の劇場催事
約2,000席

屋外イベント広場
屋根付き屋外ステージ
大型ライブ、祭り等
約1万人規模

メッセ
展示催事
大型展示会場
約2000㎡

ギャラリー
展示会場/アート等の展示
屋内約200㎡②約100㎡
屋外約360㎡

日本伝統文化エリア
伝統文化・芸能等
屋根付き屋外ステージ
展示会場約350㎡

小規模ステージ
音楽・トークイベント等
未定

大阪ハルカアピリオ
一部屋根付き屋外ステージ
ステージイベント(トークイベント等)
ステージ面積:約80㎡

※(仮称)大阪ウィークの期間を含む大阪ハルカアピリオでの催事については、今年度中に催事計画を確定予定

(3) 府・市のテーマウィークの取組みについて

府内市町村や府内市町村の意向も確認しながら、具体的な実施内容等を調整中。

テーマ(ウィーク名)	
地球の未来と生物多様性ウィーク	学びと遊びウィーク
健康とウェルビーイングウィーク	未来への文化共創ウィーク
平和と人権ウィーク	未来のコミュニティとモビリティウィーク
食と暮らしの未来ウィーク	SDGs + Beyond いのち輝く未来社会ウィーク

2. ボランティア活動を通じた万博への参加

(1) ボランティアの募集に向けた準備状況

2025年度からのボランティア活動の実施に向け、募集、選考、研修及び活動等の運営を担う事業者の公募を行い、本年7月に委託契約を締結

- ① 活動内容：万博を契機に大阪に訪れる方への万博情報の案内、交通案内、観光案内等
- ② 主な活動場所：国内外からの来場者を迎える玄関口となる主要駅や空港等

○ 具体的な活動場所の選定にあたっては、以下の考え方を踏まえ交通事業者と調整中

- ・万博会場の主要ルート（大阪メトロ、JR線等）
- ・観光地へ向かうための交通の要所
- ・より多くの人との接触機会のある中心街 等

○ 上記の場所に加え、大阪ヘルスケアパビリオン等での活動も検討中

○ 主に万博会場内で活動するボランティアは、協会において運営事業者を選定中

【活動場所のイメージ】

大阪の玄関口

国内外の来訪者を迎える西の玄関口。24時間運用する国際線空港

国内からの来訪者を迎える大阪の基の玄関口。空港に近い乗り型列車

新幹線にて全国から来訪者を迎える基の玄関口。JR線、地下鉄、近鉄、各線が乗り入れする主要駅

大阪の中心地・梅田、JR線、地下鉄、近鉄、各線が乗り入れする主要駅

連日多くの観光客で賑わう梅田駅周辺。なんば、心斎橋を擁する阪大駅前

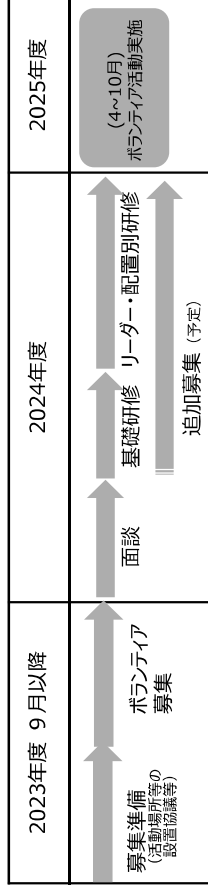
基の玄関口となる大阪第3の玄関口。あべのりしか、新世界など観光地としても人気

※各活動場所には参加者の休憩拠点や、万博情報/周辺観光の案内に役立つツール等を配備した案内ブースを設置予定

③ 想定募集人数：約1万人（活動場所の箇所数等から必要な人数を精査中）

- ・できる限り幅広い方々に参加頂けるよう、ボランティア団体の意見なども踏まえながら、募集条件を検討中
- ・万博の機運醸成と合わせた効果的な時期に募集開始できるよう取り組む

(2) 今後のスケジュール



3. 大阪の子どもたちの万博会場への無料招待

(1) 無料招待の対象者

- 4歳以上の大阪の子どもを対象とする（3歳以下は入場料無料）
 - ① 府内の小・中・高校（国公立学校）に在学する者 約88万人
 - ② 府内在住の4・5歳児や府外の学校への通学者、高校等に在学しない者 約14万人
- 計 約102万人
(人数は現時点のもの)

(2) 事業の実施手法等

全ての大阪の子どもを万博会場に複数回無料招待できるような検討中

実施手法（1回目）

・府が大阪の子どもを1回招待

- ① 小・中・高校の在学者
 - ・府が入場券を各学校に配付し、学校行事として実施
 - ・学校行事を欠席した児童・生徒には、学校から入場券を配付
- ② 4・5歳児、府外の学校への通学者、高校等に在学しない者
 - ・府が各家庭等からの申請に基づき、入場券を配付

【費用負担】1回目の招待にかかる経費は、大阪府が負担

実施手法（2回目以降）

- ・府が市町村に2回目以降の招待を呼びかけ
- ・市町村が入場券(夏バス・通期バス・1日券)を選択
 - ※市町村が2回目以降の招待をしない場合もあり
- 招待方法については、今後、府内市町村の意見等も踏まえ検討
- 【費用負担】2回目以降の招待にかかる経費は、市町村が負担

(3) 予算 ①小・中・高校の在学者 令和5年度9月補正予算案として教育庁が要求中
②4・5歳児等 令和6年度当初予算要求に向けて調整中

【参考】入場チケットの価格 *3歳以下は無料 *大人(引率教職員)は無料

区分	1日券 会期中いつでも 1回入場可	夏バス 7/19～10/3まで 11回以降も 入場可	通期バス 4/19～10/3まで 11回以降も 入場可	学校団体割引 学校団体が同時に入場可	
				前期 開場～7/18	後期 7/19～10/13
大人(18歳以上)	7,500円	12,000円	30,000円	2,000円	2,400円
中人(12～17歳)	4,200円	7,000円	17,000円	1,000円	1,000円
小人(4～11歳)	1,800円	3,000円	7,000円		
高校生					
小・中学生、園児					

(4) 今後のスケジュール

